

古代学学術研究センター・研究会

古代のみやこを考える

日時： 7月30日（火） 17：30～19：00

会場： 奈良女子大学文学系S棟3階327演習室

報告： 職写田の展開過程について—9世紀の検討を中心に—
宍戸香美（安堵町歴史民俗資料館）

都城行政機構である京職は、京戸からの租税収入をその主要財源としていたと考えられるが、京職財政については不明な点が多い。

中でも、職写田と呼ばれる京職独自の財源は、9世紀以降に発展・拡大をみせ、元慶官田とともに財政史のうえでも注目される存在である。同時に職写田は、9世紀に顕著となる京戸や戸籍制度の変質と密接なかかわりをもつ存在でもあった。

本報告では職写田を主たる分析対象とし、その展開過程を検討することで、京職財政やそれを支える京戸の特質の一端をとらえることを試みたい。

事前申し込みは不要、参加費は無料です。

多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ先：奈良女子大学 館野和巳研究室（0742-20-3307）